



CAT4.16.2 リリースノート

最終更新日 2018/09/26

目次

リリースノートについて	1
リリースノートの内容	1
フィードバックについて	1
1. 主な機能強化	1
1.1. 監査テスト機能を追加	2
1.1.1. サービス設定・監査テスト設定	2
1.1.2. テスト仕様書・監査列の設定	2
1.1.3. テスト管理画面・表示モード切り替え	3
1.1.4. 詳細進捗画面・監査用の予定入力機能	3
1.1.5. 全体・詳細進捗画面・テストの進捗対象の切り替え	5
1.2. その他の追加・変更	6
1.2.1. 実行画面・実行結果情報列の追加（更新者および実行時間）	6
1.2.2. テスト仕様書一括ダウンロード時のフォルダ構成を変更	6
2. 障害要望対応一覧	7

リリースノートについて

リリースノートは、CATの最新リリースに関する総合的なユーザガイドです。CAT リリースノートは、新機能や強化機能、そしてそれらをすぐに活用するために必要な情報を提供します。

リリースノートの内容

リリースノートでは、新しい重要な機能強化について次の情報を提供します。

- ・ 機能に関する簡潔で詳細な説明
- ・ 設定と管理の開始にあたって役に立つ実装のヒント
- ・ メリットを最大限に引き出すのに役立つベストプラクティス
- ・ 詳細な説明

主な新機能以外のメール、新しいレポートタイプ、セキュリティとパッケージなど、最新リリースに含まれるその他の機能強化や機能変更の一覧と簡単な説明は、その他の機能強化の章に記載されています。

CATの最新リリースを使いこなすためのガイドとして、リリースノートをお役立てください。

フィードバックについて

CATが成功を収めるには、リリースノート、オンラインヘルプ、およびドキュメントがいかに重要であるかを認識しています。提供するコンテンツの継続的な向上のために、成功要因と失敗要因を把握したいと考えています。情報のご提供をお待ちしております。

1.主な機能強化

CAT4.16.2 では、以下の機能強化・追加を行いました。

- 監査テスト機能を追加
- その他の実装
 - 実行画面に列追加（更新者および実行時間）とフィルター機能の追加
 - テスト仕様書ダウンロード時のフォルダ構成を改善

1.1. 監査テスト機能を追加

正確性の向上や打鍵と検証を分けて効率化を図るために、各テストケースをダブルチェックする際の運用をサポートする、監査テスト機能を追加しました。

この機能を利用すると、通常及び監査のテスト実行を分けて進捗確認ができるようになります。

以下に設定及び利用方法を記載します。

1.1.1. サービス設定・監査テスト設定

サービス内で監査機能を利用するためには、次の画面で設定をする必要があります。

<設定画面>

サービス管理>(任意のサービス)>テストの基本設定>監査テスト設定

監査テスト設定で「監査モードを有効にする」を ON にすると各プロジェクトで利用可能になります。

[テストの基本設定の該当箇所]



1.1.2. テスト仕様書・監査列の設定

サービス設定にて有効に設定後、テスト仕様書の列設定にて「実行結果(監査)」タイプを設定できるようになります。本タイプを設定した列の結果は、全体進捗などで通常の進捗と分けて表示することができます。

<設定画面>

テスト管理>(テスト仕様書一覧にて任意のテスト仕様書を選択)
>シート設定>(任意のシートを選択)>列設定

列のタイプを「実行結果 (監査)」に設定します。

[列設定のタイプ選択箇所]



[テスト実行画面での表示例]

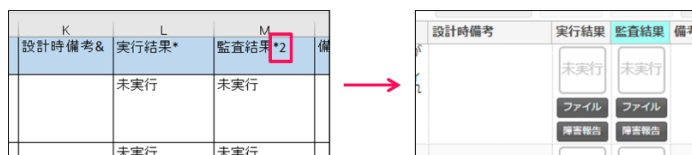


※監査列はヘッダーが水色で表示されます。

<テスト仕様書のヘッダーに指定するショートカットについて>

Excel のテスト仕様書を取り込む際、ヘッダーの末尾に*2 を付加した列は予め監査タイプとして設定し取り込むことができます。

[Excel のテスト仕様書と取り込み後のイメージ]



Excelのヘッダー名の末尾に*2 を付加すると、アップロード時自動的に監査タイプとして設定されます。

1.1.3. テスト管理画面・表示モード切り替え

テスト管理画面に表示される情報を通常・監査・すべての3つに切り替えて表示できます。

項目名	説明
通常モード	「通常列」の担当者・ケース数・進捗率を一覧に表示します。
監査モード	「監査列」の担当者・ケース数・進捗率を一覧に表示します。
全て	「通常列」と「監査列」を合わせた担当者・ケース数・進捗率を一覧に表示します。

[テスト管理画面]



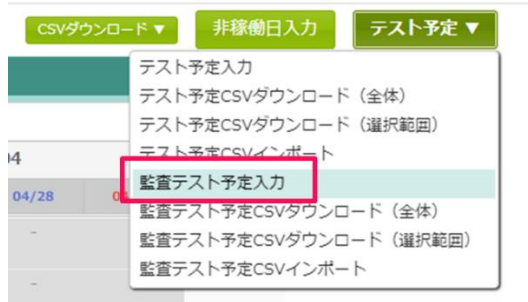
表示モードにより、担当者・進捗の数の切り替えが可能です

1.1.4. 詳細進捗画面・監査用の予定入力機能

詳細進捗画面のテスト予定入力機能で、監査用の予定値を入力できます。テスト予定から「監査テスト予定入力」を選択して入力します。入力方法は従来の「テスト予定入力」と同様(※)です。

[詳細進捗画面でのメニュー表示例]

CAT4.16.2 リリースノート



※入力方法についてはマニュアルの以下の章をご確認ください。

CAT4.16 ユーザマニュアル - 活用編 - 「6.1.3. 予定を自動で入力する」

1.1.5. 全体・詳細進捗画面・テストの進捗対象の切り替え

全体進捗及び詳細進捗のテスト予定・実績について、表示モードを切り替えて表示できます。各画面の表示設定で、テスト表示対象を通常・監査・全てのいずれかに切り替えグラフ・テーブルに表示される値を設定できます。

[全体進捗の表示設定]

表示設定

表示期間: 2018-04-25 - 2018-04-30

表示単位: 4週間 2週間 1週間 日 3時間 1時間

表示時間: 開始: 09:00 終了: 18:00

ケース消化数: 保留を含める: 対象外を含める:

テスト表示: 通常テスト 監査テスト 全て

[詳細進捗の表示設定]

表示設定

表示期間: 2018-04-25 - 2018-04-30

表示単位: 4週間 2週間 1週間 日 3時間 1時間

集計対象: OK 修正済 NG 保留 対象外

表示時間: 開始: 09:00 終了: 18:00

テスト表示: 通常テスト 監査テスト 全て

項目名	説明
通常テスト	「通常列」を参照した値がグラフ・テーブルに表示されます。
監査テスト	「監査列」を参照した値がグラフ・テーブルに表示されます。
全て	「通常列」と「監査列」を合計した値がグラフ・テーブルに表示されます。

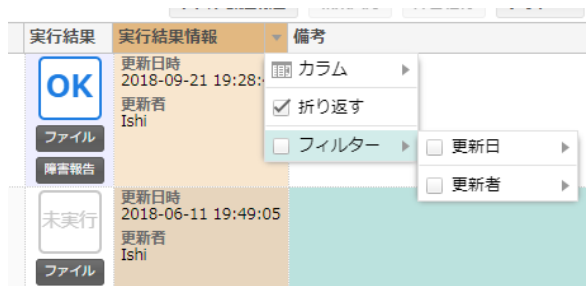
1.2. その他の追加・変更

1.2.1. 実行画面・実行結果情報列の追加（更新者および実行時間）

実行結果列に登録されている最新の実行日、実行者を表示する列を追加しました。担当者や実行列でフィルタリングすることも可能です。

表示するには、実行画面でカラムの表示設定から実行結果情報を ON にしてください。

[実行結果情報・フィルターの表示例]



1.2.2. テスト仕様書一括ダウンロード時のフォルダ構成を変更

テスト管理画面で全ての工程のテスト仕様書を一括ダウンロードした際、ZIP ファイル内のフォルダ構成を変更しました。工程毎のフォルダを設け、工程別にテスト仕様書を分けるように変更しました。

[テスト仕様書一括ダウンロード時(全工程)のフォルダ階層]

ダウンロードしたファイル

└─ 工程名

└─ テスト仕様書名

2.障害要望対応一覧

障害 ID	修正内容
1141 795 790 1088	[テスト管理] <ul style="list-style-type: none">・ 監査機能の追加・ テスト仕様書の一括ダウンロードで工程フォルダの下に各テスト仕様書を配置
1148 1131 1061 1059 1058 1038	[その他] <ul style="list-style-type: none">・ テスト仕様書の添付ファイルを削除するときに確認画面を表示する機能を追加・ セッション時間を最大 9,999 分まで設定できるように変更
830 818 815 811 808	[不具合修正] <ul style="list-style-type: none">・ 削除された工程に課題が残っている場合、当該種別をプロジェクトから削除できない。